

どんな声にも耳を傾け、みなさんと力合わせて

市民の願い実現に全力 保育料値上げの撤回等を迫る



議会の委員会で、保育料値上げの撤回・保育所の定員増を求める坂本市議

市議会の本会議や委員会で、敬老パス「見直し」や保育料値上げの撤回・保育所の定員増を求め、市を厳しく追及し市民の暮らしを守るため奮闘。傍聴者からは、しばしば拍手が送られていました。



「つねに市民とともに」が坂本きょう子のモットーです

暮らしと福祉、最優先の市政を
坂本きょう子

北区の地域の要望実現に奮闘 地域住民と協力し、毎年「北区長交渉」



今年3月14日の「北区長交渉」で、要望実現を求める坂本市議

いまや毎年恒例となっている「北区長交渉」で、各地の「住み良くする会」や社保協と協力し、区民の要望実現に尽力しています。

これまで道路や信号などの整備など、多くの改善が実現しています。

核兵器反対は坂本きょう子の活動の原点。拓北・あいの里地域のみなさんと「原発からの撤退と、被災者の支援」を訴え。



原発からの撤退を訴え



今年はずでに北区内で10回以上の集いに参加。市民の「国保や介護保険料が高すぎて払えない」・「敬老パスを守って」「消費税増税を止めさせて」など切実な声が寄せられています。

毎年、北区の各地域で
区民と対話・懇談

今回の市議会でも多くの要求が実現

日本共産党と市民の協力が市政を動かしています

住宅リフォーム助成 予算4倍化
日本共産党が、くり返しもとめてきた住宅リフォーム助成制度が2010年に実現。昨年度、2500万円でも予算が不足し、今年度4倍1億円の予算が盛り込まれました。経済効果は、32億円、発注額の1.6倍です。
共産党は、予算枠の拡大、助成対象を住宅全般に拡大、建設業登録要件の撤廃など、使いやすい制度を求めています。



保育所定員増 今年度1千名
札幌市の待機児童は、2011年10月時点で1653人もいました。党市議団は、一貫して、保育所不足の解消を訴えつづけ、ついに、札幌市を動かして4年間で4000人分の保育所増をさせることになりました。

避難所への備蓄物資 配置拡大

冬季に札幌で避難所生活をする場合、防寒対策が生死を左右します。市内の避難所610カ所、その内、市有施設442カ所で毛布や水、食料などの備蓄物資が配置されているのは131カ所のみ。当初、市は「すべての避難場所に配置することは効率的ではない」「配置場所がない」と後ろ向き。「がれきや火災、道路が不通になった場合、どのように搬送するのか」と繰り返し追及して、新年度は、市有施設48カ所に配置が増えます。

北区では 以下の学校に 配置されます。

- 【あいの里西小】
- 【太平小・中】
- 【篠路西小・中】
- 【新琴似南小】
- 【新光小】
- 【新琴似緑小】
- 【新琴似北小】
- 【新川中央小】
- 【新川小・中】

居宅介護 全額一時払い解消

昨年10月より福祉用具購入や住宅改修の費用について、受領委任払いを実施し、利用者から喜びの声がとどいています。それ以前は、利用者が購入費や改修費の全額を一時支払い、後日、9割分が戻る仕組みでした。このため、介護用品の購入や住宅改修を希望しても高額なため利用できない人がいました。
在宅介護の関係者や利用者から、「最初から1割だけの支払に」との要求に、繰り返し議会でも求め実現したものです。

くらしと 市政のご相談は

坂本きょう子市政事務所

北区北23条西3丁目2-55 2階

TEL 738-9550・FAX 738-9551

市政へのご要望・ご意見をお寄せ下さい。